

きんとくだより

～ 第 9 号 ～
平成21年3月発行

鳴瀬川中流部緊急対策
特定区間事業

鹿島台出張所管内5工事の状況報告【NO.4】

河道掘削の仕上げが始まりました

掘削前



掘削完了



- 掘削前には雑木で覆われていた岸が伐開され、河道が広くなり洪水時など多くの水を流せるようになります。
- 掘削法面に表土（河岸にあった種や根を含んだ土砂）を張り付け、早期緑化により景観・環境に配慮します。

築堤盛土が急ピッチで進められています



ブルドーザでの土の敷き均し



タイヤローラーでの土の締固め



鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業に活用されている築堤盛土材は、主に鳴瀬川の河川内の土砂を掘削し、改良したものを使用しています。

河道（水の流れる面積）を広げ、その土で堤防を大きく強固なものとする。使えるものを有効に活用することで、環境にも配慮した、エコな事業を目指しています。

左の写真は掘削土砂の改良土砂を使い、築堤盛土作業をしているところです。

◎工事に関する問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所

〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80 TEL:0225-95-0194

(工事担当機関)鹿島台出張所 堰管理専門官

〒989-4102 大崎市鹿島台木間塚字小谷地496-1 TEL:0229-56-2617